

## インド工科大学ハイデラバード校で、日本のIT企業初の ブロックチェーン特別講座を実施

株式会社 chaintope（福岡県飯塚市、代表取締役社長: 正田英樹、以下 chaintope）は、2018年9月17日、インド工科大学ハイデラバード校（インド・ハイデラバード、学長: U. B. Desai、以下 IITH）と協力して、ブロックチェーンの基礎とその実践を扱う特別講座「The Blockchain: Theory and Practice」を開講致します。ブロックチェーンを主に扱う日印産学連携は報告例がなく、chaintope・IITHの共同研究・特別講座が初めての事例となります。

インド工科大学（IIT）とは、工学と科学技術を専門とするインド内23の国立大学の総体であり、国家的重要性を有した研究機関と位置付けられ、研究水準の高さは国際的にも認められています。その1校であるIITHは、国際協力機構(JICA)の支援によって研究と教育環境の整備が進められており、日本とインド間の産学連携にも積極的に取り組んでいます。同大学は、ブロックチェーンの基盤技術としての応用性と重要性に注目してきました。

その一方で、chaintopeは、日本国内でのブロックチェーン研究開発の先駆者として金融、小売、不動産等の各分野で実証実験等を進めており、研究開発や世界的なサービス展開においてインドIT人材が重要であるとの認識から、インドにおける研究開発拠点・人材プールの構築を模索してきました。その取り組みの中で、chaintopeはIITHと、2017年12月にブロックチェーンによる社会問題の解決や、その健全な社会展開に貢献する人材育成を目的として、共同研究と教育活動を実施していくことに合意しました。本特別講座は、その一環として実施するものであります。

本講座は、安土茂亨・chaintope取締役CTOを中心に、片岡広太郎・IITH訪問准教授(Dept. of CSE)、およびC. Pandu Rangan・IIT Madras教授(Dept. of CSE)とで実施予定です。主にIITHのコンピュータサイエンス学科の学生を対象に、14時間・1単位の集中講座(2018年9月17日～9月21日)として実施します。受講生は、Bitcoin Coreを利用して、ブロックチェーンにおけるP2Pネットワークの維持や暗号通貨を利用した決済、セキュリティ上の課題について理解を深めます。また、プロジェクト課題を通じて受講生が独自にブロックチェーン技術やその応用についてシステム開発に取り組む予定です。

chaintope は、今後も更なる共同研究・特別講座を IITH および他の IIT と一緒に行い、インドでのブロックチェーン技術者育成と研究開発拠点強化に取り組んで参ります。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社 chaintope

広報担当 加藤 宏明

福岡県飯塚市幸袋 560 番地 8 I.B.Court2F

TEL 0948-26-3801 FAX 0948-26-3802

Email [info@chaintope.com](mailto:info@chaintope.com)